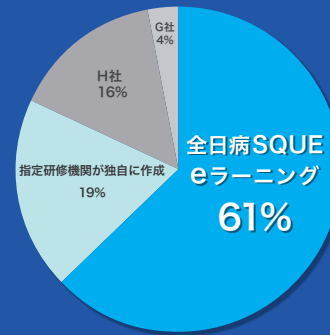


看護師特定行為研修『全日病SQUE eラーニング』（共通科目・区分別科目）

看護師特定行為研修 eラーニング（全日病SQUE eラーニング）では、共通科目精錬化による250時間と区分別科目のパッケージ化について4月末の通知改正後すぐに対応いたします。

現在認定されている113の指定研修機関のうち
70の指定研修機関が全日病SQUE eラーニングを採用
しています(2019年2月)。



通知改正後の3つの変更点

※従来の共通科目(315時間)と従来の区分別科目も配信は継続します

point 1 共通科目315時間 → 250時間に精錬化

全日病SQUE eラーニングでは、**5月1日**から250時間の新しい共通科目を配信開始

point 2 区分別科目の時間数の大幅変更、実習時間は症例数で表示

例 動脈血液ガス分析関連 30時間 → 13時間 + 5症例
ろう孔管理関連48時間 → 22時間 + 5症例

全日病SQUE eラーニングでは、**6月1日**から新しい区分別科目を順次配信開始

point 3 区分別科目のパッケージ化

在宅・慢性期領域／術中麻酔管理領域／外科術後病棟管理領域

全日病SQUE eラーニングでは、**7月1日**から「在宅・慢性期領域」「術中麻酔管理領域」の区分別科目パッケージを配信開始

全日病SQUE eラーニング 2019年度提供プログラム

全日病看護師特定行為研修プロジェクト委員会が全国から各分野のスペシャリストを選定1コマ60分に統一されているため、研修計画の組み立てが簡単

共通科目(講義 195時間、演習・実習 55時間:合計 250時間)

省令・通知改正後

共通科目の内容	時間数
臨床病態生理学	45h → 30h
臨床推論	45h
フィジカルアセスメント	45h
臨床薬理学	45h
疾病・臨床病態概論	60h → 40h
医療安全学/特定行為実践	75h → 45h
合計	250h

●従来の共通科目(講義247時間、演習・実習73時間:合計320時間)

全日病SQUE eラーニングは、
通知改正後の「学ぶべき事項」に
適法かつ適切に準拠

全日病SQUE eラーニングは、通知改正後の学ぶべき事項である「特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全とケアの質保証を学ぶ」という項目に準拠してeラーニングを配信します。

区分別科目

オプション

※区分別科目は共通科目(全日病 SQUE eラーニング)を採用している指定研修機関のみご利用いただけます。

省令・通知改正後

* 講義・演習の時間のみ表記し、実習時間は症例数で表記

公開中の区分別科目の内容	時間数*
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9h
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29h
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	8h
ろう孔管理関連	22h
栄養に係るカテーテル管理(CVC)関連	7h
栄養に係るカテーテル管理(PICC)関連	8h
創傷管理関連	34h
創部ドレーン管理関連	5h
動脈血液ガス分析関連	13h
透析管理関連	11h
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16h

公開中の区分別科目の内容	時間数*
感染に係る薬剤投与関連	29h
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16h
循環動態に係る薬剤投与関連	28h
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26h

2019年度中に配信予定

循環器関連	20h
心嚢ドレーン管理関連	8h
胸腔ドレーン管理関連	13h
腹腔ドレーン管理関連	8h
術後疼痛管理関連	8h
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	17h

区分別科目パッケージ 2019年7月1日から配信開始

在宅・慢性期領域 / 術中麻酔管理領域 / 外科術後病棟管理領域